

「ミート」シリーズを発売し、肉代替商品市場を拡大。品発表会で、嶋裕之新規事業企画部部長は



提供される商品群

フードバンク提供「ハローズモデル」

【中国】

平成30年度 農業白書に掲載

社会貢献活動が高評価

た新鮮品の提供も実現している。
また、この取組みは「平成30年度・第6回食品産業もったいない大賞」で最優秀賞に次ぐ農林水産省食料産業局長賞を受賞している。

同社では、この「ハローズモデル」を活用すれば、フードバンク関連の提供先や引き取り施設の経費削減につながるものとして広くアピールしている。また

中国・四国地方で食品スーパーマーケット（SM）を店舗展開する、ハローズが通常の販売ができていない商品をフードバンクへ提供する取組みで、店舗近隣のフードバンクや支援団体が直接店舗に商品を引き取りに来る同社独自の仕組み「ハローズモデル」が、平成30年度農業白書に掲載された。農業白書は、農林水産省の活動内容を国会に提出し承認されたもので、同社の取組みが国に認

められた形となった。ハローズでは、福祉団体やボランティア団体に食品を提供する活動である「フードバンク」と連携し、店舗で出た廃棄せざるを得ない食品を提供する活動を2015年からスタートさせている。

取組みを始めた当初は、全店舗から商品を集めて、フードバンクへ提供していたが、提

供量の増加に伴い、商品を引き取りに来るフードバンクの負担も大きくなっていった。そこで同社では、店舗近隣のフードバンクや支援団体が直接店舗に引き取りに来る独自のシステム「ハローズモデル」を構築し、運用を開始。商品受け渡しの際の負担軽減はもちろし、賞味期限・消費期限が近い商品やそれまで提供が難しかった。

同社では「今後もこの『ハローズモデル』での社会貢献の輪を広げるとともに、地域社会の生活文化向上に向けて、関係者と連携し、社会貢献への取組みを継続していく」としている。（浜岡謙治）